

# こくりゆうだより



おしらせが新しくなりました！  
皆様のご意見・アイデアも  
引き続き大募集しています！！

大阪府立桜塚高校1年 加福 菜摘

「ハロウィンがやってきた！この時期の家具や飾りつけはかわいくていいですね^^」

## 世界を食べよう！

～ネパール料理編～

10/26(木)10:00～13:00

ネパール出身の講師とともに、  
ネパール料理を作り味わう。

先着15名

参加費：1500円

保育あり(有料)

## おまつり地球一周クラブ

チョアチョアコリア～お料理編～

10/28(土)10:00～12:00

韓国出身の講師と、お料理を作り  
ながら交流をする。

先着15名・小学生対象

参加費：400円

## 多文化フェスティバル

11/18(土)10:30～15:00

世界の遊び体験、スタンプラ  
リー、多文化なお料理など盛り  
だくさん！

対象：外国につながるのある子  
どもやその友だち、国際教育に  
関わっている人

参加費：無料

# 9月9日(土) 第3回とよなか国際交流フェスタ 大盛況！



「国際交流フェスタ」は、とよなか国際交流センターの登録団体や活動している団体が実行委員会形式で企画、実施するもので、活動の状況などを広く発信する場として開催しています。今年のテーマは去年に引き続き「出会おう！触れ合おう！味わおう！」。今年は登録団体含む28団体が実行委員会に参加しました。

この日のために準備をし、ステージでの活動発表、バザーや古本販売、料理販売、世界の民族衣装や楽器の体験、茶道体験などなど、メニューももりだくさん。すてっぷのライブラリーまつり・駅前広場のジャンプフェスタと同時開催のため、開始直後から人でにぎやかに。そして、お昼頃にはエスニック料理の香りとお客の熱気でムンムン。その後も終わりまで、人の流れは途切れることなく、来場者のバ3500人を超えるとてもにぎやかな一日でした。今年から配布した出店・出展・活動発表をする団体・グループの活動紹介チラシも、多くの方に手に取っていただきました。みなさん、ご覧になりましたか？豊中市の国際、多文化共生の輪が少し広がった一日でした。



## コラム 日本人、聞こえますか～？ (第7回) 中原田 ブルーナ

外国人のための多言語相談サービス(ポルトガル語)多言語スタッフと、子ども事業コーディネーターをしていた中原田ブルーナさんが、2015年4月より故郷・ブラジルに滞在しています。ブルーナさんからのブラジル生活便りをどうぞ。

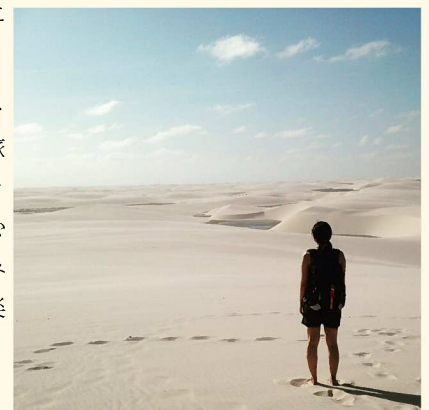
みなさん、お元気ですか？

ブラジルから書くコラムは最後になると思います。3月に日本に戻る予定です。関西に住む予定はないのですが、遊びに行くのでみなさんよろしくお願ひします！ブラジルに帰ってくる前、1年以内に日本に戻る予定をしていたが3年も経ってしまいました。将来どこかで落ち着いて暮らそうと思っても、どこに住みたいかわからなかったが、ブラジルにずっと住んでもいいかなと思ひ始めました。ブラジルは治安など、問題がたくさんあるが、プレッシャーが少なく、すごく住みやすいと思ひました。3年間ブラジルで過ごした感想を簡単にまとめました！笑

楽しかったこと：友だちが遊びに来てくれたこと、ブラジル国内でたくさん旅行ができたこと。悲しかったこと：貧富の差がまだまだひどいこと、人種が多いにも関わらず差別もまだまだあるということ、政治汚職もまだまだひどいこと。驚いだこと：帰ってきたばかりの頃、

ポルトガル語がなまっていて、外国人だと思われたことが何回かあったこと。大変だったこと：仕事を始めたばかりの頃(一年目)、全く仕事ができなくてしんどかったこと。仲いい友だちが周りにいなかったこと。してよかったこと：おばあちゃんや親戚と時間を過ごすこと。後悔したこと：新しい友だちを作るのが大変で、友だちを作るのあきらめたこと。

今のプロジェクトが終わったら南米旅行をして、そのあとしばらく日本に住む予定です。国流のみなさんに会うのを楽しみにしています！



レンソイスマラニェンセス国立公園にて

## 子ども・若者事業ボランティアで合宿研修を行いました！



←1日目夜のミーティング  
夜遅くまでつづきました

9月2日・3日に、とよなか国際交流協会の子ども・若者支援事業に関わるボランティア&担当職員で、1泊2日の合宿を行いました。河内長野市にあるキャンプ場のバンガローを借りて、BBQや散策、ぶどう狩り等のレクリエーションを織り込みつつ、活動の中で感じる疑問や悩みなどについて話し合いました。

普段の活動後のミーティングでは、その日の活動の振り返りや子どもたちの状況の情報共有で終わってしまうことが多く、なかなかボランティア同士で深く話し合う時間がとれていませんでした。今回の合宿では、ボランティアがそれぞれ考えていることや、子どもたちへの対応の仕方など、これまで気になっていたことなどについてじっくりと話し合うことができ、とても良い機会になりました。

夏はやっぱBBQ！  
近くには滝もあるよ



## センターお知らせ表紙原画展！～12月28日(木)まで開催中です！

とよなか国際交流センターのニュースレター「お知らせ」の表紙には、近隣の2つの高校（府立池田高校、府立桜塚高校）の美術部の生徒が描いたイラストが掲載されています。

これは、豊中市で行われている高校生と地域をボランティアでつなぐ試みの一つである2009年2月のボランティアフォーラムにおいて、「イラストの依頼があったらやります！」という池田高校美術部の生徒たちととよなか国際交流協会が出会ったことがきっかけです。その後、2012年度には桜塚高校美術部の生徒さんとも出会い、地域の二つの高校美術部の生徒さんたちのイラストが隔月で協会のお知らせ表紙に掲載されています。

この度、お知らせが100号に突入したことを記念して、原画展を開催することになりました。みなさま、高校生の描く想いのこもったイラストを、ぜひご覧ください！



センター内ギャラリーにて開催中

### コラム なんちゃ・カンチャ言わせてもらえば（第102回）

#### 「札幌・旭川でブックトークしました！」 皇甫康子（ふぁんぼ・かんちゃ）

9月2日、エルプラザで『札幌 家族写真をめぐる私たちの歴史 at サッポロ In アイヌモシリ』のトークイベントがきくえ開催されました。今回は札幌在住の原田公久枝さんをはじめ、東京や大阪、姫路から執筆者5人と編集の岡本有佳さんが加わり、豪華イベントになりました。他の集会とも重なり、参加人数は少なかったのですが、写真ワークでは、まさしく写真に写らないお話を聞かせてもらって、新しい発見がたくさんありました。写真を持ってきてくださった参加者に感謝です。

続く3日には旭川の「チーム今だから」の主催で「こどもふうきどう富貴堂」のメンバーの人たちが準備してくださり、ときわ市民ホールで40名近くが参加してくれました。ミニ展覧会もし、ここでも写真ワークは、質問しながら進められ写真だけでは分からない出来事を参加者みんなで共有することができました。

両日とも、交流ナイトが素晴らしく、原田さんがアイヌの歌と踊りをレクチャーし、私がチャンゴのリズムやアリランの歌、踊りなどを教えました。すごうけたのが、ウィターナゲさんと私の即興コントでした。札幌で道を聞くと、親切な男性がウィターナゲさんを見て、「日本語上

手ですね、どこから来たの」と質問。彼女は一生懸命、自分は大阪で生まれ育ち、大阪からきたのだと説明しますが、面倒くさいと思った私は、他人のふりして、どんどん離れて歩きました。後で、彼女から「逃げましたね」と言われ、「私は名乗ると、未知との遭遇みたいな顔されるけど、どちらがましかな」と返し、二人はため息をついたのでした。見た目でも外国人とわかるスリランカ国籍のウィターナゲさんが、何も注文していないのに、「カレーうどんですね」と店員さんに言われたことなど、みんなで思いつき笑い飛ばしました。笑った後には、ステレオタイプについて話をし、自分の中の思い込みや偏見を確認することができました。そういえば、「大阪の人はキツイねえ！」とも言われました。

執筆者たちが互いの話を聞き、知らなかったことや、そうだったのかと納得したことがたくさんあります。原田さんの胸を突く話を聞き、アイヌへの差別なんかまだあるのかとか、はじめてアイヌの人の話を聞いたという、北海道出身や在住の参加者の声に驚きました。家族写真をめぐる24人の多様な女性たちの言葉が、今後も「何も知らなかった」という人たちの心の扉を開いていくのだと思います。次は沖縄に！

## 登録グループの活動紹介



### No.2 TIFA多文化子育てサロン

——今回は活動中のインタビューということで、初めて見学させていただきます。賑やかですね(笑)普段はどんな内容で活動されているのでしょうか？

田坂：大体いつも手芸などをしております。ブローチをつくったり、折り紙の先生に来てもらっているものをつくったり。あとは何気ない会話をしながら過ごすことが多いです。参加者は6~7名。色々声をかけて募集はしていますが、就学年齢前の子どもが多いので、幼稚園に通いだすとなかなか継続して来るのは難しくなりますね。

——どうして「多文化」という視点から「子育て」の活動を始めようと思ったのでしょうか。

田坂：日本に来て豊中に来て、友達もいなくて日本語も話せない。さらに文化も習慣も違う、という状況が重なると不安になり家の中にこもってしまう親子がいると聞きました。その方たちに外へ出てきてもらって、元気になってもらって、子育てに関する情報交換や友達づくりができるようになれば良いなという思いでこの活動を始めました。今日参加してくれている魚住さんもTIFAとの関わりは長いのですが、赤ちゃんが出来て一旦お休みされていて、またお手伝いに来てくれています。

魚住：TIFAの中でひとつの活動に絞っていたわけではなくて、その時に興味のあることをお手伝いしています。子どもが出来たので、せっかくだったら一緒に遊ばせてあげられたら楽しいだろうなと思って多文化子育てサロンに参加しています。子どもがいる事で急に行けなくなってしまいう事もあるけれども、日本の予防接種の情報など少しなら提供できる部分もあると思うので、どちらかというと私も一人の参加者だと思っています。

田坂：子ども同士の年齢も近いと、子育ての話からお母さん同士の会話が始まることも多いですからね。

魚住：子どもたちも最初はお互いに少し警戒しながら見つめ合っていたんですけど、今はリラックスして一緒に遊んでいます。年齢差がありながらも、お互いへの興味はあるのでおもちゃの貸し借りもしていますね。言葉は

とよなか国際交流センターには、市民による自主的な国際交流活動を支援するための登録グループ制度があります。実際の活動内容や国際交流への思いを伺いました。

通じていないけれども、子ども同士で通じている部分があるなと感じます。

——参加される方はどんな風に情報をキャッチしているのでしょうか？

田坂：それぞれの国の人たちのコミュニティから情報を拡散してもらっています。TIFAの場合だったらカフェサパナでお料理をつくってくださっているベテランのベトナムのお母さんから、日本に来たばかりの人を紹介してもらったり。そこから1人でも来てくださって、癒されると言うくださる。そういう意味ではすごくやりがいがありますね。

——これからの活動の目標があれば教えてください。

田坂：もう少し参加者を増やして、お互いの交流を図りたいと考えています。子どもたちが小さいときから「あ〜楽しいな、こうやってお友達と一緒に、外国人のお友達とも仲良くしていくことって大切なんだな」と感じてもらえるような、そういう触れ合いができるようにしたいですね。親としても子ども同士が仲良くすることで、新しい関係や活動が芽生えていけば良いですね。そういう多文化共生の基礎になる出会いがあるといいなと思っています。

※TIFA=市民による身近な国際交流・国際協力を目的として1985年に大阪府豊中市で発足した団体。TIFA多文化子育てサロンはそのグループのうちのひとつ。

#### 【活動についての問い合わせ先】

TIFA多文化子育てサロン 06-6840-1014(田坂)

活動日時：毎月第1・第3木曜日 10:00~12:00

地域に住む外国人親子のための子育てサロンです。  
外国人親子も日本人親子もまだまだ募集中！！

とよなか国際交流センターお知らせ「こくりゅうだより」第102号

発行元・問い合わせ：(公財)とよなか国際交流協会

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F

阪急宝塚線豊中駅すぐ

開館時間：9:00~21:30 (貸室受付は20:00まで・水曜休館)

TEL：06-6843-4343 FAX：06-6843-4375

E-Mail：atoms@a.zaq.jp

WEB：http://www.a-atoms.info/



SNSも随時更新中！

「とよなか国際交流センター」で検索！

